



2020年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年3月10日

上場会社名 サトウ食品工業株式会社(登記社名:佐藤食品工業株式会社)

上場取引所 東

コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元

問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 近藤 充

TEL 025-275-1100

四半期報告書提出予定日 2020年3月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期第3四半期の連結業績(2019年5月1日～2020年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第3四半期	34,985	3.9	1,088	30.6	1,252	26.7	784	32.4
2019年4月期第3四半期	33,669	5.3	1,568	38.1	1,709	42.2	1,160	34.8

(注) 包括利益 2020年4月期第3四半期 769百万円 (22.0%) 2019年4月期第3四半期 986百万円 (8.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第3四半期	155.52	
2019年4月期第3四半期	230.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年4月期第3四半期	38,362	13,460	35.1
2019年4月期	30,832	12,792	41.5

(参考) 自己資本 2020年4月期第3四半期 13,460百万円 2019年4月期 12,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期		0.00		20.00	20.00
2020年4月期		0.00			
2020年4月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年4月期の連結業績予想(2019年5月1日～2020年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,800	2.2	700	40.6	860	36.1	530	40.5	105.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年4月期3Q	5,075,500 株	2019年4月期	5,075,500 株
期末自己株式数	2020年4月期3Q	31,414 株	2019年4月期	31,348 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年4月期3Q	5,044,130 株	2019年4月期3Q	5,044,228 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年5月1日から2020年1月31日まで)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続いているものの、新型コロナウイルスの出現が世界経済に与える影響や、米中貿易摩擦をはじめとした海外情勢の不確実性により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、消費者の節約志向は依然として根強く、また人手不足を背景とした人件費や物流費の上昇など、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、お客様の安全・安心に重点をおいた包装餅及び包装米飯製品の安定供給、並びに適正価格での販売に努めることを基本に事業活動を推進してまいりました。

おいしさの追及はもちろんのこと、お客様の消費動向を捉えながら、多様化するニーズに対応可能な生産体制の整備を進めるとともに、全社一体となった営業活動に取り組むことで業績の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は包装餅及び包装米飯製品ともに主力製品を中心に堅調に推移したことから、前年同期比13億16百万円増の349億85百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

利益面につきましては、聖籠工場の新設により売上原価が増加したものの、売上高の伸長により売上総利益は140億24百万円(前年同期売上総利益136億66百万円)と増加いたしました。しかしながら、前年より続く物流費の上昇、および販売増にともなう販売促進費の増加により、営業利益は10億88百万円(前年同期営業利益15億68百万円)、経常利益は12億52百万円(前年同期経常利益17億9百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益については7億84百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益11億60百万円)となりました。

なお、当社グループは主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期連結会計期間の売上高及び利益が他の四半期連結会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しておりますが、製品分類別の販売動向は以下のとおりであります。

製品分類別の販売動向

(包装餅製品)

包装餅製品では、当社グループだけが使用している「ながモチフィルム」(酸素吸収機能をもつ透明な個包装フィルム)の特性を、よりお客様にご理解していただくことを目的に、同フィルムのロゴがおいしいお餅のしるしであることをアピールするテレビCMを継続放映するなど、販売拡大に努めました。

新商品としては、主に鍋料理にお使いいただくことを想定した「サトウのしゃぶしゃぶもち」や、調理しやすさ食べやすさを追求し、お餅の大きさを弊社従来品よりコンパクトな20gに設計した「サトウの切り餅シングルパックミニ」、「サトウのまる餅シングルパックミニ」を発売し、更なる需要拡大に向けた取組みを実施いたしました。

また、鏡餅については、消費者の皆様へ、より最適な商品を選んでいただけるように、「サトウのサツと鏡餅」シリーズに新たに1,000gタイプ・400gタイプを加えるなどのラインナップ充実や、一部商品にパッケージのリニューアルを図るとともに、最需要期に向けたCM放映や、販促キャンペーンを実施いたしました。

その結果、包装餅製品の売上高は182億10百万円(前年同期比1.2%増加)となりました。

(包装米飯製品)

包装米飯製品では、近年、特に小盛り・大盛りサイズの販売が好調に推移し、容量別の消費者ニーズが高まってきたことから、商品のバリエーション強化を目的に「サトウのごはん銀シャリ」に“小盛り150g”、“大盛り300g”の2アイテムを追加発売しました。

また、原料米の産地であるJAと提携して、各地の特産品をプレゼントする販促キャンペーンを実施する等、販売促進に取り組まれました。

加えて、日本古来の炊飯方法を忠実に再現した独自の製造技術(厚釜ガス直火炊き)により、電子レンジ2分で家庭と同様の炊き立てごはんを再現できることや、製品名に原料米の産地銘柄を明確に表示していることがお客様の利便性及び安全・安心意識にマッチし、売上高は堅調に推移いたしました。

その結果、包装米飯製品の売上高は167億58百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は189億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ70億12百万円増加いたしました。これは主に原材料及び貯蔵品が10億52百万円、仕掛品が4億13百万円それぞれ減少したものの、受取手形及び売掛金が73億72百万円、商品及び製品が4億60百万円増加したことによるものであります。

固定資産は194億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億19百万円増加いたしました。これは主に聖籠工場の新設にともない、有形固定資産のその他(建設仮勘定等)が38億58百万円減少し、建物及び構築物が24億64百万円、機械装置及び運搬具が19億79百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は383億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ75億29百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は163億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ63億36百万円増加いたしました。これは主に、流動負債のその他(未払費用、未払消費税及び未払法人税等)が4億53百万円減少したものの、運転資金としての短期借入金が61億60百万円、未払金が10億70百万円増加したことによるものであります。

固定負債は85億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億25百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が5億80百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は249億1百万円となり、前連結会計年度に比べ68億61百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は134億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億67百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が6億83百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は35.1%(前連結会計年度末は41.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年4月期決算短信(2019年6月10日公表)において公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による経済への影響が長期化する兆しを見せてきておりますが、当社グループの売上は引き続き堅調に推移している状況にあります。しかしながら、現時点ではその影響を数値化することは困難であるため、本業績予想には織り込んでおりません。今後、修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	349,847	628,913
受取手形及び売掛金	6,155,029	13,527,949
商品及び製品	1,790,732	2,251,537
仕掛品	630,586	217,367
原材料及び貯蔵品	2,899,152	1,847,063
その他	106,702	476,620
貸倒引当金	△4,830	△10,220
流動資産合計	11,927,221	18,939,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,424,128	5,889,101
機械装置及び運搬具(純額)	4,516,500	6,496,146
土地	2,346,415	2,346,415
その他(純額)	4,318,354	459,816
有形固定資産合計	14,605,399	15,191,479
無形固定資産	98,575	168,909
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	2,459,818	2,438,136
その他	1,765,351	1,650,156
貸倒引当金	△26,020	△26,020
投資その他の資産合計	4,199,150	4,062,272
固定資産合計	18,903,125	19,422,662
繰延資産	2,035	203
資産合計	30,832,382	38,362,098

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,197,854	991,698
短期借入金	1,050,000	7,210,040
未払金	3,386,410	4,457,277
引当金	399,179	164,096
その他	3,975,215	3,522,000
流動負債合計	10,008,659	16,345,113
固定負債		
長期借入金	6,653,563	7,234,430
引当金	60,414	57,224
退職給付に係る負債	1,020,043	1,004,181
その他	296,737	260,209
固定負債合計	8,030,758	8,556,046
負債合計	18,039,418	24,901,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	11,430,384	12,113,984
自己株式	△36,167	△36,412
株主資本合計	12,443,992	13,127,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	603,540	557,053
退職給付に係る調整累計額	△254,568	△223,462
その他の包括利益累計額合計	348,972	333,591
純資産合計	12,792,964	13,460,938
負債純資産合計	30,832,382	38,362,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2019年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2020年1月31日)
売上高	33,669,712	34,985,935
売上原価	20,003,287	20,961,267
売上総利益	13,666,424	14,024,668
販売費及び一般管理費	12,098,028	12,936,321
営業利益	1,568,396	1,088,346
営業外収益		
受取配当金	13,100	14,464
受取賃貸料	143,022	145,770
副産物収入	55,095	67,904
その他	102,686	82,070
営業外収益合計	313,905	310,210
営業外費用		
支払利息	49,669	32,508
賃貸費用	64,851	70,191
その他	58,362	42,923
営業外費用合計	172,883	145,623
経常利益	1,709,418	1,252,933
特別利益		
固定資産売却益	5,670	-
投資有価証券売却益	6,025	-
特別利益合計	11,695	-
特別損失		
固定資産売却損	1,334	-
災害による損失	-	63,937
特別損失合計	1,334	63,937
税金等調整前四半期純利益	1,719,780	1,188,996
法人税、住民税及び事業税	409,040	344,024
法人税等調整額	150,385	60,488
法人税等合計	559,425	404,513
四半期純利益	1,160,355	784,483
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,160,355	784,483

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)
四半期純利益	1,160,355	784,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△201,584	△46,486
退職給付に係る調整額	27,654	31,106
その他の包括利益合計	△173,929	△15,380
四半期包括利益	986,425	769,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	986,425	769,102
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。